



HAFU ADAI (ハフア・アテイ - 先住チャモロ人の言語で「こんにちは(やあ元気?)」)

<http://www.jcguam.org/jsg/top/>

2012年9月1日号

グアム日本人学校
校長 中村 宏

グアム日本人学校 その5

待望の体育館建設に向けて大きな前進！

グアム日本人学校の体育館建設に向けて、大きな前進がありました。

子どもたちがずっと待ち続け、関係者が声を上げ続け、募金活動もしてきたグアム日本人学校の体育館建設について、本年1月、外務省より「来年度の海外教育関係予算政府案に、グアム日本人学校体育館建設に係る予算が計上された」旨の連絡が入りました。その後、業者選定等幾つかの大事なプロセスを経て、いよいよ2学期には具体的な建設に向けての動きが始まります。

グアム日本人学校に体育館が出来たら…と思うだけで、実に多くの場面が、次々に頭の中にふくれあがっていくのは、グアム日本人学校関係者なら誰でも同じでしょう。炎天下ではなく体育館で行う体育の授業、跳び箱だって、ドッジボールだって、鬼ごっこだって、バスケットボールだってできてしまいます。入学式や卒業式は、もう大変だった教室間の隔壁撤去作業をしなくても、広い式場で立派に執り行えるようになります。入学生や卒業生も、これまで以上に胸を張って式に臨めることでしょう。そして、学習発表会だってよその会場を借りに行かなくても体育館で出来ます。練習だって、思い切り体育館を使えます。本当に、本当に、早い実現が望まれます。



体育館完成予想図

水泳学習

「HAFADA」No.3でもレポートしましたが、グアム日本人学校にはプールがありません。海洋性亜熱帯気候のこの地の学校にプールがないということは実にもったいない話です。年中泳げる気候でありながら、学校の授業で水泳練習ができるのは、1年間に6回（前後期各3回ずつ）です。それも、コンドミニウムのご厚意でプールをお借りしての実施であり、グアム日本人学校がいかにか地域の皆様に支えられているかを痛感する一時です。

今年もそのプールで水泳学習を行いました。児童生徒は一生懸命に泳ぎました。



運動会

運動会はグアム日本人学校の年間を通じての一大行事の一つです。今年は、6月10日（日）、素晴らしいグアム日和の下で盛大に開催されました。児童生徒は、教師と共にこの日のために一生懸命練習しました。3週間の練習期間中、最初の週は雨に降られて思うように練習できませんでしたが、残りの2週間で見事に仕上げました。

当日は、朝早くからボランティアで多くの保護者の皆様にもお手伝いいただき、会場が整えられました。総領事様はじめ多くのご来賓にもおいで頂き、演技競技する児童生徒の熱演と、それを応援する保護者はじめ多くの観客の皆様の熱気が合わさって大いに盛り上がりました。「Go for No.1 勝利のもとへ～勝って 勝って 勝ちまくれ～」という勇ましいスローガンを掲げて、赤白対抗の数々の種目が繰り広げられました。結果は白組優勝！赤組準優勝でしたが、どの顔も満足そうでした。

今回の運動会では、体調不良で本部テントに来る幼児児童生徒が皆無であったことも嬉しいことでした。運動会に様々な形でご支援を頂きました多くの皆様、本当にありがとうございました。



小学部1年生の開会挨拶



パクパクパッケン（パン食い競争）



ラジオ体操



大玉リレー

フリーマーケット

7月7日（土）にPTA主催のフリーマーケットが開催されました。毎年多くの地元の人々が押し寄せるこのフリーマーケットは、たくさんの方が楽しみにしています。

保護者をはじめとする多くの日本人関係者の協力で得られた品物は大人気です。今年も午前8時の開門1時間ほど前から、校門前には多くの方が待っていました。そして、開門と同時に売り場へとかけて行きます。しかし、どの顔も笑顔でとても楽しそうです。

今年は販売目標額を大幅に上回り、関係者一同大喜びでした。



多くの来場者



テント内売り場も大賑わい

屋外結露

雨季真っ最中のグアムでは、雨がよく降ります。そんな8月下旬のある日、小学部1年生教室のエアコンに霜が付き、修理をお願いしました。この時の教室はヒンヤリして寒いくらいでした。業者が部品を取りに帰っている時、1年生の児童が教室に戻ってみると、なんと窓の外にビッシリと水滴が付いていました。さっそく1年生はそこに字を書いたり、いろいろな絵を描いたりし始めました。

窓ガラスの結露というと、日本では冬の寒い日によく見かける光景です。もちろん水滴は窓の内側（室内）に付きます。ところが、ここグアムでは、水滴は窓の外側（室外）に付きます。考えてみると当たり前のことですが、それでも改めて日本との違いを感じてしまいます。



おはようウォーキング

グアムには多くの観光客が来ます。その観光客が最もたくさん集まるタモン海岸はきれいな浜辺ですが、よく見るとゴミもたくさん落ちています。このタモン海岸のゴミを拾ってきれいにしようと、毎年、日本人会青年部が主催して「おはようウォーキング（早朝散歩と清掃活動）」が開催されています。

今年は6月24日（日）に開催されました。早朝にタモン海岸に100名以上が集まり、日本企業の協力もあり、ゴミ袋や軍手が支給されて、朝日の中をタモン海岸の清掃活動を行いました。

当日の参加者は、早起き、海岸散歩、活動終了後にはおいしいドーナツやハンバーガーや飲み物付き、そして清掃活動と良いことづくめです。多くのグアム日本人学校児童生徒も参加しました。

※右写真は一昨年のもので



ついに犬に襲われた

「HAFA ADAI」No.2でもレポートしましたが、グアムは野良犬や野良鶏がとても多いです。野良鶏なら向こうが逃げてくれますが、野良犬は様々なパターンがあり、素直に人間様をよける犬もいますが、人間を無視したり、なかには人間に向かって威嚇や時には攻撃をしてくることもあります。

私はよく住居の周辺をジョギングするので多くの野良犬グループと顔見知りになりました。そして、それぞれの性格もだいたい把握できていました。ところが、とうとう犬に襲われたのです。

5月のある土曜日の午前9時前頃のことです。ジョギング復路、普段はあまり通らない近道を通った時に、突然目の前に犬が飛び出してきて激しく私に吠えかかりました。これまでの経験から、私は吠えてくる犬への対峙法を身に付けておりました。例えば、犬と目を合わせてこちらからは目をそらさない、走らない、正対して向き合う、これでも逃げなければしゃがんで石を拾う（まねでも良い）等々です。これまでそれで100%の犬がこちらに近づかない、あるいはこちらから離れて行きました。しかし、今回は違いました。ものすごい勢いで私に吠えかかり飛びかかって来そうになりました。「噛まれる」と思った瞬間、緩い上り坂だったこともあり、思わず私は後ろへ転倒してしまいました。そして右後頭部を路面に打ち付けました。すぐに立ち上がりましたが、なんと左手からは血が流れ、打った頭に手をやると、べっとりと血が付いていました。「くそっ！やったな」と思いました。そして、即座に石を拾って投げつけました。石は犬の体に命中しましたが、なんと相手は怯まず私に向かって吠え続けます。しばらくお互いに威嚇し合いましたが、結局その後は飛びかかっては来ませんでした。落ちていて良く犬を見てみると、何とその犬は鎖につながれているのです。それまで私はてっきり野良犬だと思い込んでいました。それにしてもなぜ鎖につながれている犬が道の真ん中まで出てくるのかと思って観察をすると、その鎖は、道路に沿って平行に張ってある針金に通されており、その針金の長さの分はスライドして自由に犬は動ける仕組みになっており、さらに針金は道路脇に張ってあるので、道路の中央付近まで鎖が届いていたのです。要は、飼い主のアイデアによる家宅侵入を防ぐための手立てでしょうが、通行人はたまったものではありません。

その後、通行人に電話を借りて妻を呼び、妻の助けを借りて飼い主に電話連絡を取り抗議したところ、なんとその道自体が私有地であると言うのです。これには驚きました。「それならそれで私有地の看板を出しておけ」とも思いましたが、これ以上は強く言い続ける気力は失せました。帰宅後体を点検すると、負傷箇所は頭、左右の肘、背中と体中数カ所あり、頭が最も重傷でした。頭の傷口を消毒して様子を見ましたが、心配で結局病院に行きました。医師によると、なんと頭が2カ所切れているということで、6針縫いました。

（後日談）どうしても腹が納まらないので、数日後、あえてその道を通り、石を数発犬に向かって投げてやりました。ところが飼い主がそれを見て私に声をかけました。飼い主も、私の行動から私が被害者であるとすぐに分かったようで、けがのことを心配し、治療費を支払う旨申し出ましたが、私はすでに治療は終わった旨答え、これで一件落着としました。それからはもうその犬の所へは近づかないことにしました。



私を襲った数日後の当該犬の様子